

県下全市区町村すべてを歩きましょう！ 5.11 平和のつどいの成功を

2008年原水爆禁止世界大会成功

米原子力空母配備を阻止しよう！

50周年神奈川県平和行進ニュース

発行 国民平和行進神奈川県実行委員会 横浜市中区野毛町2-01 大沢ビル4A

TEL 045-281-6284

FAX 045-261-6577

2008年

5月17日

NO.12

小さい園児も行進に参加



藤沢で

藤沢市役所では市長のメッセージが代読され「藤沢市は核兵器廃絶

平和都市宣言の他に、核兵器廃絶の平和推進の基盤に関する条例を作っている。それに基づいて恒久平和の実現に向け市民と共に推進しています」と。賛助金とペナントを頂き、原爆被災者の会藤沢支部（白藤会）会長神宮さんがお礼を述べ、被爆体験を語られました「仲間の方が、突然急性白血病で亡くなり、いつ自分もという不安を持っています。核兵器廃絶のために、これからもがんばります」と。全体では150人が行進。被爆者は茅ヶ崎まで8人が歩かれました。

途中からかわいらしい園児12人が9の字のついたTシャツを着て、9人ずつ手をつなぎ、コープ赤松店まで歩きました。

藤沢では、爆音がうるさく、2機連隊で行進隊の頭上を飛んでいました。

午後は茅ヶ崎市役所で、寒川の方たちと合流し、集会。

寒川から30人が
行進をして合流

茅ヶ崎で

市長のメッセージが代読され「広島・長崎の惨禍が二度と

繰り返されぬよう、戦争体験や被爆体験を風化させることなく未来を荷う

世代にまで、広く世界に平和の尊さを語り継いでいかななくてはならないと思います」と。60人が行進しました。

大井町

大井町役場で総務課長の井上さんが挨拶「被爆から69年たった、時間が流れているけれど、戦争の傷跡をうすめさせるものではない。平和の尊さを考えます。大井町も核兵器廃絶と恒久平和の実現に尽力します」と。30人参加

山北町

町役場では総合防災課の渡辺さんが町長のメッセージを代読。「ようこそ山北町においでくださいました。心から歓迎するとともに、東京-広島間を徒歩で行進され、核兵器廃絶・平和を訴えられていただいておりますことに深く敬意を表します」と。

松田町

町役場で副町長の石井さんが町長のメッセージを代読。「松田町においても全ての住民の安全で豊かな暮らしの実現を目指し、平和の推進と意識の高揚を図る諸施策を展開することが求められています」と。沿道の人にピラを渡すと「ごくるうさま」と暖かい反応が返る。40人参加

南足柄市

市長のメッセージより「当市は毎年各種の平和事業を開催して、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え続けています。平和を願う折り鶴事業では、市内の小中学生や市民のみなさまが折ってくださった千羽鶴を広島と長崎に送る活動を毎年実施しています」

開成町

副町長の小沢さんが「長年平和の大切さを訴え、平和行進を続けているみなさんに敬意を表します。世界の平和は日本人全体の原点、国民全体の願いでもあります。引き続きがんばってください」と。水の流れもきれいで、花もいっぱい咲き、年金者組合から冷たい飲み物が差し入れられました。

町の人たちは、はじめてみる平和行進に
びっくりし、共感。会う人みんなが笑顔
で手を握り、互いの力で

開成町・南足柄市

大井町・山北町・松田町

50周年ではじめてのコース